



[Ishikari]

2017
Vol. 336

JAいしかり 1

発行/石狩市農業協同組合

謹賀新年



主な記事

- 年頭のご挨拶 1
- ニュースファイル 5
- インフォメーション 7

今年は私たちの年です。
「稔り多い年でありますように!!」
私たちも願っております。

新年あけましておめでと〜うございませう



石狩市農業協同組合

代表理事組合長 中村 武史

組合員皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。また、旧年中はJA事業全般にわたり、特段のご理解とご協力を賜り衷心より深く感謝とお礼を申し上げます。

平成28年の石狩市農業は、降雪も比較的少なく融雪の早い春を迎えましたが、5月には強風による野菜の被害、6月は低温と日照不足、8月には4つの台風による長雨が続くなど天候不順な一年となり多くの生産者が被害に遭われました。心よりお見舞い申し上げます。

米穀につきましては、作付面積で18haが減少し、登熟のバラツキ等生育のムラがあり、平均反収は10a当約7.5俵、出荷実績は4万6百44俵となりましたが全量1等米で検査を終える事ができました。

小麦では秋小麦については、品質的には概ね良好で昨年の大豊作には及ばないものの、近年では昨年に次ぐ多収穫となり、平均反収388kg、春小麦については細粒傾向となりましたが、平年並の平均反収240kgとなりました。

青果物に関しては長雨により排水不良での

根腐れや適期に防除が出来ず病害虫の発生等により出荷数量は減少しましたが、市場価格が根菜類の馬鈴薯・人参を中心に出荷当初より高値で推移したことにより、総体では15億円を越える実績となりました。

直売事業につきましては、平成23年に「とれのさと」をリニューアルオープンして以来、安心安全で新鮮な石狩産農産物が手に入る店舗として市内外に定着し、更には継続的にメディア等を活用した結果、顧客数、売上額ともに順調に推移し、さらにお客様の要望を受け本年度より冬期営業も開始、一年を通して石狩産農産物をPRして参ります。

また、本年度より加工事業として「いしかり漬け」を昨年まで製造をお願いしていた方より加工場をお借りし、漬物の作り方を伝授されながら製造しており、「いしかり漬け」を中心とした加工品を「とれのさと」で販売し好評を頂いております。

昨年の11月には、地区別懇談会を5会場で開催し、今後のJA事業における課題解決に向け「農業収入の確保・拡大」「生産支援体制と生産コスト低減」「担い手の確保・育成」の項目を中心に多くの組合員の皆様から

貴重なご意見、ご要望を頂きました。それぞれの項目に対して慎重審議し新年度事業に取り入れながら組合員の所得向上を目指し事業展開して参ります。

農政面ではトランプ次期米国大統領がTPP離脱を表明する中、国内では12月にTPP承認案が国会で成立し、さらにEUとのEPAが急浮上するなど農政の先行きが益々混沌し、我が国農業の将来に不安を感じさせられる一年でありました。

しかしながら組合員の営農経済や生活をしっかりと守り、支えていくのがJAの役割であります。

本年も組合員皆様の負託に応えられるよう、役員一丸となつてJA事業に全力で取り組む決意でございますので、組合員皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が豊穡の秋を迎えられ、組合員皆様とご家族皆様のご多幸をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

役職員一同謹んで新年のご挨拶を申し上げます

常務理事	暢明 幸春	紀樹行 徹文	男 夫 同
理事	裕正 清喜	直 裕	政 芳 正 員
事務	家池 端川	村 倉 居 田	江 木 田 林 外
常務理事	氏 小 池	六 大 熊	新 吉 大 青 相 小
信用担当	理事	理事	理事
代表	監 監	監 監	監 監
代 監	員	員	員

平成29年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところであります。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムを取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離

脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、

宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるような努力して参ります。

結びになりますますが、今年の干支は丁酉（ひのととり）です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでありあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

新しい年を迎えて



JAいしかり青年部
部長 増田 崇 紘

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

また、昨年は当青年部活動に対しまして組合員の皆様とご家族、役員の方々にはご理解とご協力を頂きましたことを深くお礼申し上げます。

昨年の青年部活動を振り返りますと8月に行った「石狩まるごとフェスタ」のステージショーでは昨年より趣向を変えて小中学生を対象に「野菜大収穫クイズ大会」を行い、いしかりの野菜をテーマにして、クイズ大会を行い石狩産農産物をPRしました。

9月には無人機「ドローン」を使つてのデモンストラクション飛行を行い、これからの農業を見据えた栽培管理や担い手対策の最新情報を組合員の皆様に発信しました。

また、サツマイモプロジェクトでは我々青年部が作ったサツマイモ・米を原料にして昨年6月に田中酒造に持ち込み、醸造を行った芋焼酎「芋男氣」が10月に完成し、JAいしかり地物市場とれのさとの販売をおこないました。

その後、食と農の未来づくりフェスタでは「芋男氣」の事例発表としてPRを行いました。

私たちを取り巻く農業情勢は、トランプ次期米国大統領は環太平洋連携協定(TPP)からの離脱を表明し、安倍政権が進めているアベノミクスに打撃を与えたとの見方が日本国内で広がっており、我々農業者としては依然として先行き不透明な状態が続いています。

このようなかで我々青年部は様々な事業を展開し、チャレンジ精神を忘れず、これからも部員同士の親交を深め、研修や視察などで得た知識を基に、知恵を出し合い、厳しい時代を乗り越えて行ける青年部にしていきたくと考えております。

最後に、我々青年部は農協や消費者また生産者との繋がりを大切にし、安心安全な農産物を生産することで「食」の大切さをこれからも伝えていきたいと思っております。

本年も組合員とご家族、そして役職員の皆様にご指導ご協力のほどお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新しい年を迎えて



石狩市農業協同組合女性部
部長 川崎 寿 子

新年明けましておめでとうございます。

皆様にかかれましては、ご家族でご健勝にてすばらしい新年を迎えられました事と、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと6月にはニセコ方面へ視察研修を行いJAよつてい京極支所を訪問しました。

役員の方より人参・牛蒡の乾燥野菜や人参ジャムの加工販売等についての説明がありました。会員の減少や高齢化の影響で加工事業も負担のかわらないよう交代制で行っているとの事でしたので抱える問題は同じなのだと感じました。お互いに頑張りましょうと視察先を後にしました。

8月には市内幼稚園児と父母を対象にした親子で楽しむバスツアーが開催されました。この事業では地場産の野菜をふんだんに使ったカレーライスを作り、大変好評でした。

「石狩まるごとフェスタ」ではゆでとうきびを二日間に渡り販売し、お客様からは石狩産のとうきびは美味しいと好評で完売することが出来ました。

又、毎年取り組んでおります「とれのさと加工体験施設」を利用した、コーンスープ、いもち製造につきましても、地物市場「とれのさと」において好評を得ています。

今年度は三越で毎年行われているホクレン大収穫祭への出展依頼があり、コーンスープ、いもちを100個ずつ出展し3日間で完売することが出来ました。

さらに今年には地物市場とれのさとの通年営業に合わせいもちを製造し冬期間の販売も行います。12月には内部研修として味噌造りを行い、部員も手慣れた様子で仕込んでいました。

昨今の農業情勢は、動向が不透明なまま参加表明をしているTPP問題等、農業を取り巻く情勢は更に厳しさを増しています。

そうした中、私たち農業者は食の安全安心のために常に情勢に目を向けていなければならないと思います。石狩の特色ある資源を活用して地産地消を高め、女性部として皆様の理解とご協力を頂きながら事業に取り組みで行きたいと考えております。

最後に新しい年が皆様にとって健康で輝かしい一年になりますようにご祈念し、新年のご挨拶と致します。

新しい年を迎えて



石狩農業改良普及センター石狩北部支所

支所長 増子 優子

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成29年の新春をご家族とともに迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、皆様には特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の作況を振り返ってみますと、春先の気温が高く融雪が進んだことから、秋まき小麦の起生期は平年より10日・水稲のは種期は2日早まり、野菜の耕起やは種・定植作業も順調なスタートを切ることができました。

しかし、6月以降の低温・日照不足により生育は停滞しました。さらに、記録的な降雨に見舞われたことから、平年を上回っていた水稲・豆類などの生育は平年をやや下回る状況となりました。

8月には、台風7号・9号・11号が相次いで北海道に上陸したことから、全道的に大きな被害が発生しました。管内では

ロココリーなどの冠水や園芸施設への被害がありました。

9月に入っても台風から変わった低気圧の影響もあり雨天が多く、降水量は平年を大きく上回りました。その後の農作業に大きく影響し、大変厳しい条件の中での収穫作業となったほ場もありました。

春先の高温から低温、台風と目まぐるしく変化する気象に翻弄された一年であり、一部を除き、平年より遅れる結果となりました。

近年、気温や降水量が大きく変動する極端な気象が多発しています。このような厳しい気象条件下にあっても確かな実りが実現できていることは、ご家族や地域が力を合わせ、弛まぬ努力と長年にわたる基盤整備や土づくりなどの取り組み、栽培管理技術の高さを現す結果とあらためて敬意を表します。

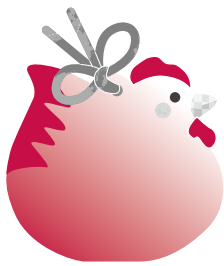
農業を取り巻く環境は、TPPなどが

グローバル化の流れを見極めつつも、大きな変革の波に対応して行くことが必要となっております。

国内においては、「新たな食料・農業・農村基本計画」がスタートし、「強い農業」と「美しく活力ある農村」の創出を目指していくこととなりました。

国内外の情勢がめまぐるしく変化し、先行きが不透明な状況ではありますが、普及センターとしましては、今後とも皆さまのさらなるお力添えもいただきながら普及活動を進め、地域力の維持・向上と農業振興を目指します。基本となる生産力をさらに高めていくとともに多様な担い手の確保や女性の能力発揮、適正な輪作体系の構築等を引き続き支援してまいります。

結びに、本年が輝かしく豊かな年となると共に、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



全道JA青年部大会開催



12月1日、2日の日程で、札幌パークホテルを会場に全道JA青年部大会が盛大に開催されました。全道のJAよりおよそ800人が一堂に会す中、当JA青年部からは7名が参加し、青年部員が農業や青年部等に関して将来への希望や意見・提言などを発表する「青年の主張大会」、これからの営農・生活安定向上とJA青年部組織の充実強化をはかる活動などを発表する「JA青年部活動実績発表会」の他、作物別に分かれテーマに応じた研修をする「分科会」を行い自己研鑽と全道の盟友の親睦を図りました。

その中でも12月号でもお知らせした青年部のイメージアップを図る農業・JA青年部活動に関して人一倍熱い情熱を持った盟友を発掘する純農ボーイコンテストに石狩地区を代表して成田和広君が出場し、懇親会のパフォーマンス審査時に「最愛の奥さんに愛を叫ぶ」という秘策をくり出して注目を浴びていました。

また、2日には「あぐり王国NEXT」に出演している金井憧れ氏（HBCアナウンサー）の基調講演が行われ参加された部員は熱心に耳を傾けていました。



純農ボーイコンテストで発表する成田和広さん

「おやふる工房」道女性・高齢者チャレンジ活動表彰にて「奨励賞」受賞



「おやふる工房」構成員の皆様

農業経営・農村振興で活躍する女性農業者や高齢者を表彰する本年度の「道女性・高齢者チャレンジ活動表彰」において、「おやふる工房」の活動実績が認められ奨励賞に輝き、12月7日農協本店にて表彰されました。

この表彰は農村生活の充実や地域の振興などのために積極的に活動している女性や高齢者のグループ又は個人を対象にその活動に対し表彰され、道が主催しているもので、地場食材を使った加工品の製造や市民を

対象とした食育活動を積極的に行っている点が高く評価されました。「おやふる工房」は9名の構成員からなり、平成22年に設立し、JAいしかり地物市場「とれのさと」にて加工体験施設が併設されたのをきっかけに農産加工品の商品化を検討し、平成24年からは地産地消の広がりや食の安心安全を目指す組織として積極的に各種加工品の製造及び販売に取り組んできました。

特に石狩産の米を原料とした「生こうじ」を使った味噌や漬け物等が人気で約10種類の加工品を製造し、とれのさとで販売しています。

また、市が主催する食育講座「食と農のカレッジ」に通う市民や生振小の児童を対象にみそ造りを教え、食の大切さと地産地消の大切さを伝えていきます。

代表の宮北貞子さんは「忙しい農作業の合間での活動で家族の協力があってこそ続けられた。これからは農業以外の人も巻き込んで続けていきたい」とこれからの活動に意欲を見せていました。



道より代表の宮北貞子さんへ賞状が贈呈される

そ菜園芸振興会 反省会開催される

12月8日～9日に定山溪温泉ホテルミリオーネでそ菜園芸振興会反省会が開催されました。

振興会の活性化と会員相互の親睦を深めるため、定山溪温泉での開催となり、札幌中央卸売市場より、丸果札幌青果(株)中村常務取締役、札幌ホクレン青果(株)大野常務取締役、畠山主任のご出席を頂き、今年の作柄や販売状況などについて挨拶を頂きました。

また、懇親会では会員の皆様と今年1年を振り返り青果物の取扱いや販売状況など色々な話しをして、大変貴重な時間を過ごす事ができました。

今年度の青果物販売実績（共撰・個撰合計）は次の通りです。

■今年度の青果物販売実績 (平成28年11月末実績)

品目	JA取扱金額 (千円)	前年対比 (%)
人参	226,605	148
大根	128,489	119
えんどう	156,044	195
スナップエンドウ	339,635	105
アスパラ	130,041	107
メロ	117,874	115
食用馬鈴薯	183,748	160
長芋	6,231	64
スイートコーン	5,851	94
玉ねぎ	10,121	94
種馬鈴薯	21,100	91
育苗	1,100	91
レタ	5,374	110
直売所・花など	198,245	128
販売金額合計	1,509,394	110



杉中敏男そ菜園芸振興会会長の開催挨拶

JAいしかり女性部 味噌造り開催

JAいしかり女性部（川崎寿子部長）が毎年恒例となった内部研修「自家製味噌造り」が12月18日～19日の日程で地物市場とれのさと加工体験施設にて行われました。石狩産の大豆を原料にした自家製の味噌の味は「大豆の味がいきいてお味噌汁にする」と格別」と部員外の参加者4名を含む16名が自家製味噌造りに挑戦しました。

今年で13回目の開催となり部員のみならずは手際よく仕込み作業を行い、無事全員分の仕込み作業を終える事ができました。



女性部の皆さんで好評の味噌が出来上がりました

営農課

平成29年度営農計画受付日程について

平成29年度の営農計画書の受付を、下記日程及び内容により全組合員を対象に実施致します。

◆ 1号様式該当の組合員

■ 受付日時・場所

地区	受付月日	午前の部 (9:00~12:00)	午後の部 (13:00~17:00)	受付場所
石狩	1月16日(月)	大曲、大曲中央、石狩個人	北生振1班(※旧)	本店営農経済部 会議室
	1月17日(火)	五の沢、高岡第4	高岡第3	
	1月18日(水)	北生振3班(※旧)	北生振2班(※旧)	
	1月19日(木)	高岡第5	美登位	
	1月20日(金)	高岡第1	高岡第2	
生振 花畔	1月24日(火)	北区、花畔個人、生振第3	花畔農住	花畔支店 2階会議室
	1月25日(水)	花畔中央、花畔上組	生振第1	
	1月26日(木)	生振第5、6	生振第2	
	1月27日(金)	生振第7、南線協栄	生振第8	

◆ 2号様式該当の組合員

受付月日	受付時間	対象地区	受付場所
1月16日(月)~1月20日(金)	午前9:00~12:00 午後1:00~ 4:00	石狩地区組合員	本店金融窓口
1月24日(火)~1月27日(金)	午前9:00~12:00 午後1:00~ 4:00	花畔・生振地区組合員	花畔支店 金融窓口

その他:クミカンの印鑑をご持参下さいますようお願い致します。

◆ クミカンを利用しない組合員

受付月日	受付時間	対象地区	受付場所
1月16日(月)~1月20日(金)	午前9:00~12:00 午後1:00~ 5:00	石狩地区組合員	本店営農経済部 会議室
1月24日(火)~1月27日(金)	午前9:00~12:00 午後1:00~ 5:00	花畔・生振地区組合員	花畔支店 2階会議室

その他:事前に送付致します営農計画書に必要な事項を記入し、印鑑を持参下さい。

営農計画の作成にあたっての留意事項

- 家族及び農業従事者等で十分協議し営農計画を作成して下さい。
- 農産物の作付は、土地条件、労働力等を十分に考慮し作成して下さい。
- 前年度の営農計画とその実績を点検し、課題点と改善事項に基づいて作成して下さい。
- 営農計画書を作成提出し、収支のバランスが伴わない場合は、再度作成協議致します。

その他、不明点がございましたら、営農部営農課迄お問い合わせ下さい。

平成29年度 免税軽油申請手続きのお知らせ

昨年12月中に皆様へ配送させて頂いております書類内容をご確認の上、下記の通り提出下さいますようご協力をお願い致します。

記

提出期日 平成29年1月13日(金)

提出書類

- 平成28年度使用免税軽油受払状況等集計表(受払日報)
- 平成29年度申請に伴う機械台帳変更等報告書
- 平成29年度免税軽油申請受付書類(作付計画書)

提出先

対象地区	受付場所
石狩地区	本店資材課
花畔・生振地区	花畔支店金融窓口

不動産所得申告日程表

日程	地区		受付会場	受付時間
	午前部	午後部		
1/18(水)	石狩地区・北区	花畔中央・上組	花畔支店 (2階) 会議室	午前部 9:00~12:00 午後部 13:30~16:00
1/19(木)	農住	新道・南線協栄・個人		
1/20(金)	樽川	生振		
1/21(土)	その他			

※ 1/21(土)は予備日です、指定日に来店出来ない方などに対応致します。

総務課

農業所得申告受付日程

平成28年度営農の締めくくりであります、農業所得申告が下記の通りJAの各本支店の会議室で行われます。該当の日時に忘れずにご出席下さい。

申告期間 平成29年2月13日～3月2日

会場	日程			農事組合別申告受付時間				
	月	日	曜	時間	組合名	時間	組合名	
石狩本店	2	13	月	9:00	大 曲	13:00	高岡第5・北生振3	
		14	火	9:00	北生振2	13:00	美登位・五の沢	
		15	水	9:00	高岡第4	13:00	高岡第3	
		16	木	9:00	高岡第2	13:00	高岡第1	
		17	金	9:00	北生振1			
花畔支店	2	20	月	9:00	花畔農住	13:00	花畔農住	
		21	火	9:00	花畔北区	13:00	南線協栄	
		22	水					
		23	木	9:00	上 組	13:00	花畔中央	
		24	金	9:00	樽 川	13:00	樽川・新道	
		27	月	9:00	個 人	13:00	生振第5	
		28	火	9:00	生振第1	13:00	生振第6	
		3	1	水	9:00	生振第8	13:00	生振第4
			2	木	9:00	生振第2	13:00	生振第3・7

役員OB会
新会長に伊藤英雄氏

12月6日茨戸ガーデンに於いて、第27回JAいしかり役員OB会（六川正輝会長）の総会が開催されました。当日は会員13名が参加し総会で提出された各議案が承認されました。

また、今年度は役員任期が3年の任期満了の年となり、役員が改選され新たに会長 伊藤 英雄氏、副会長 新居 義光氏、会計書記 吉田 久雄氏が満場一致で承認された。

総会終了後には懇親会が行われ、久しぶりに再会する会員同士今年度を振り返つての話や、役員時代の話に花が咲き、楽しい時間を過ごしました。



六川正輝会長の役員OB開催挨拶



地区別懇談会
開催される

地区別懇談会が11月6日の農協本店2階会場を皮切りに5会場で開催され、会場によっては組合員、奥さん、ご子息の一家で3名参加を頂いた会場もあり、多くの方の出席を頂きました。

例年3月に実施している地区別懇談会に加えて、今年度より新たに秋にも開催となりました。

今回の趣旨であります、今後の農協事業における検討課題に向けて「農業収入の確保・拡大」「生産支援体制と生産コスト低減」「担い手の確保・育成」の項目を中心に多くの組合員さんより、貴重なご意見、ご要望が出されました。それぞれの項目に対して慎重審議し組合員の所得向上につながるよう、来年度の事業に向けて取り組んで参ります。



美登位地区での様子



本店での様子

理事会だより

第11回定例理事会 ~12月16日~

◆ 報告事項 ◆

- ① 農産物出荷状況等報告
- ② 内部審査結果報告について
- ③ 道女性・高齢者チャレンジ活動表彰について
- ④ 平成27年度米穀共同計算精算結果について
- ⑤ 営農課業務体制について
- ⑥ 地区別懇談会意見集約について
- ⑦ 平成30年度職員採用について
- ⑧ 石狩市新年交礼会について
- ⑨ 農業委員会総会について

◆ 審議事項 ◆

- ① 第3四半期自治監査結果について
- ② 貸付金の申込み査定について
- ③ 平成29年度営農計画に係る審査方針・基準について

12月のあゆみ

1日 JA青年部全道大会~2日

6日 JAIしかり役員OB会総会

7日 「おやふる工房」道女性・高齢者チャレンジ活動表彰受賞

8日 そ菜園芸振興会反省会~9日

12日 経営会議

直売所出荷者協議会慰労会

13日 企画会議

15日 内部審査(金融課・共済課)

16日 定例理事会

18日 女性部味噌造り~19日

28日 仕事納め

訃報

花畔農住2班

織田 展嘉

享年69歳

平成28年11月30日逝去

南線協栄5班

木村 一郎

享年87歳

平成28年12月3日逝去

花畔北区 更生

戎屋 寛治

享年81歳

平成28年12月14日逝去



4メーカー
全車種対象特別企画

春の新車フェア

2017年1月1日～3月31日ご契約分まで

*対象車は、2017年1月1日～3月31日までに契約完了の車両となります。



家族で嬉しい！ご成約で選んでもらえる！

新車ご購入で

もれなく
プレゼント

- 1 ホクレンSSポイントカード 30,000pt進呈!
給油所でいろいろ買える! 貯まったポイントは、1ポイント1円として店舗献料や給油所取扱商品のご購入にご利用いただけます。
※一部店舗・給油所を除く。必ずご利用ください。
- 2 農協観光旅行券3万円分
- 3 ホクレンカタログギフト JCB商品券 (15,000円分) + セレクト・フォー・ユー (10,000円相当)
- 4 スウィツスポーツ折りたたみ自転車
- 5 健康管理セット 血圧計+体組成計
- 6 ケルヒャー高圧洗浄機 K39i-イレント
- 7 ダイソンハンディクリーナー 掃除機
- 8 緊急防災セット 防災セット+非常食+救急バック

軽トラック新車ご購入の方は
スタッドレスタイヤ
4本(ホイール付き)を
プレゼント!

さらに! ホクレン エンジンオイル プレゼント!
エコカーに最適!

クルマのマイカーローン JAバンク
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

JA共済オリジナル お得な自賠責共済セット割引
JA共済

おクルマのことは JAグループにおまかせください!



新 規 就 農 者 情 報

紺田直也さん (25歳)

○プロフィール	出身地	石狩市八幡町高岡
	就農前の職業	北海学園大学 (経営学科)
	就農地区と就農年数	高岡第1 平成28年2月より9ヶ月程

Q

就農に至った理由は？

小学生の頃より農作業の手伝いを行いながら、父親（忠幸さん）の堅実な農業経営を見習い、長男として引き継ぐ事を決めました。

Q

栽培作物は？

水		稲	516アール
秋	小	麦	400アール
馬	鈴	薯	300アール
人		参	100アール
キャベツ(札幌大球)			30アール



Q

就農してみた現在の感想は？

就農初めの頃は腰痛に悩まされた時もありましたが最近では体も慣れました。

また、今年は3回の台風で、特に野菜(人参、キャベツ)が雨・風と日照不足により生育が悪く前年の約4割減の収量となりましたが、価格が例年より非常に高くなり大きな損害にはならなかったことが幸いしました。

Q

将来の目標や予定は？

野菜の面積を増やして、余裕があれば、馬鈴薯・人参を増やして増収を図りたい。

